

令和3年度

番号

日間 又は

工期

年 月 日提出

令和4年3月31日 まで

設計書

工事名 横浜市立大学附属病院防犯カメラ設備整備委託

工事場所 横浜市金沢区福浦三丁目9番地

工事概要 病院の監視が必要な場所に防犯カメラを設置し、録画システムを更新する。

(1) 録画サーバーの更新、設定

(2) 防犯カメラの更新

(3) ネットワーク機器の更新、設定

施工理由 附属病院に設置されている防犯カメラは経年の劣化により不具合を

生じています。またセキュリティ向上のため、必要な場所にカメラを増設

します。

~~金額入り~~ ・ ~~金額抜き~~

設計金額 ¥

内訳 工事価格 ¥

消費税相当額 ¥

内 訳 書

No.2

名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要
1.カメラ・ハウジング						
小型PTZフルHD	VB-S30D MK II	19	台			
高倍率PTZフルHD	VB-H45B	13	台			
広角PTZフルHD	VB-S31D MK II	2	台			
360° カメラ12M	AXIS M3068-P	25	台			
キャノンVB-Sシリーズ天井埋込キット SR30-P-VVB		12	台			
屋内用ドームハウジング	スモークDR41-S-VB 6816B002	3	台			
5インチ軒下用ドームハウジング 壁面取付・サンシェード付	クリア A-ODW5C1S	9	台			
5インチ軒下用ドームハウジング 天吊りC金具	クリア A-ODW5C1C	3	台			
5インチ軒下用ドームハウジング	スモーク A-SWD5VT30	1	台			
5インチ軒下用ドームハウジング	スモーク A-SWD5T30	3	台			
5インチ軒下用ドームハウジング	クリア A-SWD5C30	1	台			
5インチ屋内埋込用ドームハウジ ング	スモーク A-ID5T	1	台			
小計						
2. 録画サーバー						
ラックマウント録画サーバー	RAID5 TVR-2ULLR5	3	台			
録画用HDD 6TB×3	TVO-OP6TB	9	台			
AXIS S1132	3861V840	1	台			
ツリービューワ200	TVS-TVC	1	台			
ツリービューワ200回線追加	TVS-TVL11	4	台			
小計						
3. ネットワーク機器						
5ポートギガビットPoE HUB	GS305P-220JPS	13	台			
8ポートギガビットPoE HUB	EHB-SG2B08-P	2	台			
16ポートギガビットPoE HUB	EHB-SG2B16F-PL	2	台			
16ポートギガビット HUB	EHB-SG2B16F	1	台			
24ポートギガビット HUB	EHB-SG2B24F-PL	1	台			
Gigabit同軸/LANコンバータ	NSE232	1	台			
小計						

内 訳 書

No.3

名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要
4. 防災センター内機器						
4K対応49型ワイド液晶ディスプレイ	LCD-M4K493XDB	3	台			
光ファイバーHDMIケーブル	20m 60P/4K	3	台			
APPLIED Be-Clia Type-S	BT-1511400 AS1H500SNVM6	5	台			
広視野角ASDパネル 23.8型ワイド	LCD-AH24AED	4	台			
VESAラックマウントアダプタ	RKLCDBK	1	台			
ラックマウントスライド式棚板	RKLCDBK	1	台			
DisplayPort to HDMI 変換ケーブル	R-1102C	3	個			
KVM切替スイッチ 4K 4ポート	MT-VIKI USB HDMI	1	台			
無線KBD/MOUSE MK545アドバンス	MK545	1	台			
ライブ映像表示装置	TVR-V325	1	台			
19インチサーバーラック36U観音開き	YT-SV018	1	台			
サーバーラックスタビライザー	YT-SVSBF1	1	台			
GPSタイムサーバー	TSG-100	1	台			
UPS	BY50FW	4	台			
UPS用取付金具	BYP50R	4	個			
小計						
5. 録画サーバ・カメラセットアップ費						
基本訪問料		1	式			
録画サーバ現地設定作業費		1	式			
録画サーバ追加現地設定作業費		3	回			
カメラ設定・登録費用	VB×34、360° ×25	59	台			
PCセットアップ費		5	台			
小計						

特 記 仕 様 書

<p>A. 工事仕様</p> <p>1. 適用基準等</p> <p>2. 共通仕様書</p> <p>3. 特記仕様の基準等</p> <p>4. 官公庁への手続き等</p> <p>5. 工程表</p> <p>6. 工食用材料等</p> <p>7. 疑義</p> <p>8. 設計変更</p> <p>9. 製作図、施工図</p> <p>10. 立会検査</p> <p>11. 工食用電力用水等</p> <p>12. 工事写真</p> <p>13. 工事完成図等</p> <p>14. その他</p>	<p>本工事は、共通仕様書、特記仕様書、設計図、現場説明書、追加指示事項書、内訳書、質疑応答書ならびに官公署規則（建築基準法、消防法等）に従い施工すること。</p> <p>設計図書は、優先順位は、下記の通りとする。（仕様書等については最新のものを使用すること。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現場説明書および現場説明書に対する質問回答書 2) 特記仕様書（図面記載のものおよび別冊を含む） 3) 「横浜市建築局建築工事特則仕様書」「横浜市建築局機械設備工事特則仕様書」 4) 横浜市建築局監修「機械設備工事施工マニュアル」 5) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 建築工事編」「公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編」 6) 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図 機械設備工事編」 <p>機器の据付および配管類の支持等に対する耐震処置は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」に準拠すること。また、設計時の標準震度は、重要性の高い建築設備機器扱いとする。</p> <p>工事に必要な官公署、電力会社、電話会社等への手続きは迅速に行い、これに要する費用は一切請負業者の負担とする。</p> <p>工事契約後、全工期工程表を作成し提出すること。</p> <p>工事契約後施工着手前には、主要機材選定、メーカーリスト、機器承諾図等を提出し、監督員の承諾を得たうえで発注すること。本工事に使用する機材について、監督員の指示するものについては見本品を提出すること。</p> <p>本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書にて確認すること。質疑に漏れたものは監督員の指示に従うこと。</p> <p>請負業者は、監督員の承諾した追加または変更に対しその都度変更内容をまとめ、概算書を監督員に提出すること。また、監督員の指示する期日までに、変更図および変更数量書を作成し提出すること。</p> <p>本特記仕様書および添付図面は工事の概要を示すものであるから、請負者は工事着手前に施工図を作成し、監督員の承諾を受けること。</p> <p>各工事は予め監督員の指示した工程に達したとき、立会検査を受けること。施工後の検査が不可能または困難な工事は、その施工に際して立会検査を受けるか、または記録写真を残し、後日確認を受けること。どちらかによるかは監督員の指示によること。</p> <p>工食用および機器試運転調整用電力、用水、排水等に要する費用は、工事請負者の負担とする。但し、既設建物内での作業時には監督員と協議の上、利用出来る。</p> <p>竣工後見え隠れとなる主要部分を工事進捗状況に応じて、その他の部分は月2回程撮影し、監督員の指示する部数を提出すること。</p> <p>工事完成に際しては、諸官庁および監督員の検査合格をもって完成とし、工事請負者は完成図書を作成して監督員の承認を受けること。提出部数は監督員の指示による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官公庁許可書 ・機器製作完成図・取扱説明書・保証書 ・付属品・予備品一覧表 ・アフターサービス連絡先一覧表 ・施工図（ノート製本） ・各種試験成績表 ・工事写真集 ・工事関係者連絡先一覧表 ・完成図（A4ファイル製本、ノート製本） ・完成図・施工図の原図 ・完成図・施工図のCADデータ <p>設計図に明示がなくても機能上当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工すること。この場合の請負金額の増減については協議すること。本工事完成引渡し後1か年を瑕疵期間とし、施工上の不備に関わるものは無償にて請負者が手直しを行う。</p>
<p>B. 特記事項</p> <p>1. その他注意事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本工事の完成時には「横浜市建築工事特則仕様書」及び「横浜市機械設備工事特則仕様書」に示す完成図書を必要部数提出すること。 2) 本工事中に、予定外の停電・機器停止・断水等を生じさせることのないよう十分注意を払うこと。 3) 工事着手前に既存設備の設置状況を十分調査のうえ、既存機器設置業者と十分打合せを行うこと。その結果、原設計図と異なる部分が生じたりその他不都合があった場合は、監督員に報告し指示を受けること。 4) 大学および病院の業務を継続しながらの工事であるため、第三者に対する安全には十分注意をすること。 5) 騒音、振動が伴う工事は事前に打合せを行い、指定時間に行うこと。 6) 工事期間中の防災対策は、横浜市立大学附属病院側の消防計画書に準拠すると共に、防災管理組織を編成し責任者を定め、横浜市立大学附属病院の防火責任者と連携を保つこと。 7) 次の工事については事前に届出を行い、監督員と打ち合わせ、承諾を得てから行うこと。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 停電が生じる工事 (2) 断水が生じる工事 (3) 消防設備の機能に支障を生じる工事 (4) 医療ガスの供給が停止する工事 (5) その他、授業、研究、診療、医療、調剤などに重大な影響が生じる工事 8) 工事技術者は、関係者であることを証する名札などを着用する。 9) 既設躯体をダイヤモンドカッター等でコア抜きする場合、事前にX線撮影による躯体内の調査を行い配管等が埋設されていないことを確認すること。 10) 工事期間は契約日から令和4年3月31日 までとする。 11) 図中にあるメーカー及び型番等は参考とすること。

現場仕様書

- 1 件名 : 横浜市立大学附属防犯カメラ設備整備委託
- 2 場所 : 横浜市金沢区福浦3-9
- 3 概要
附属病院に設置されている防犯カメラの更新と増設カ所に対する新規ネットワークの構築
 - ・サーバーおよびネットワーク機器の更新、設定。
 - ・老朽化したカメラの更新および新規設置
- 4 主要機器
 - ・ カメラ
小型PTZフルHD、高倍率PTZフルHD、広角PTZフルHD、360° カメラ
 - ・ 録画サーバー
 - ・ ネットワーク機器
- 5 特記事項
 - (1) 下請業者(専門業者)については、市内業者の優先使用を配慮すること。
 - (2) 請負人は、工事故等により横浜市から、指名停止処分を受けて指名停止期間中の者、又は、横浜市からこれと同等と認められて、指名停止期間中の者を下請人としてはならない。
 - (3) 工事中の施設内への出入りに際しては、施設管理者に人員等を報告の上、腕章・名札・ヘルメット等を着用し身分を明らかにすること。
 - (4) 業務に従事するものは、病院という特殊性に鑑み、患者、面会者等に対して言動、行動に注意し、節度ある業務を行うこと。
 - (5) 従事者は、その業務上知りえた情報その他の守秘義務を負うこと。
 - (6) 廃棄物等については「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」などの法令に従い、適正に処分すること。
 - (7) 不慮の事故に備え、工事中および工事後は24時間連絡・対応が可能な体制にすること。

【システム概要】

現状 56 台のネットワークカメラ[一覧表:A・B・C・D]と2台の録画サーバと5台の表示操作 PC を運用している。(別紙参照)

56 台中 2010 年に導入した 32 台のカメラ[A・B]を今回更新予定であるが、うち2台[B]は更新済みまた1台[C]を増設し、この更新済・増設済の3台[B・C](Canon VB-C30D Mk2・VB-S30VE・AXIS Q7401)はそのまま流用が望ましいが、互換性が無く流用できない場合は、個々同等製品と交換することは可能とする。

56 台中 23 台のカメラ[D]はまだ新しく、録画サーバうち1台(Canon NViS5604)で運用している。このカメラと録画サーバは継続使用とし更新対象外となる。

この 56 台に対しさらに新規で 29 台のカメラ[E・F]を増設する予定である。この 29 台各設置位置までの配線作業も新たに行なう必要がある。(別途平面図を参照) 増設 29 台中 25 台[E]が 360° カメラ(12M ピクセル)であり、この 25 台の 360° カメラへの配線経路は防災センターから既存とは別経路で新たに配線するものとする。(=ネットワークを分ける:別紙参照)

この増設 29 台[E・F]と上記更新予定 30 台[A]、計 59 台が新規購入対象であり、流用3台[B・C]を含め計 62 台が新システムとして、4 台の新規録画サーバと5台の新規表示操作 PC で運用する。(前述の様に既存の 23 台のカメラ[D]と1台の録画サーバは別途継続し併用とする)

※新旧総合計として 85 台のカメラが院内に配置され、防災センターより監視の対象となる。表示操作 PC5台のうち3台からの表示画面は既存3台の天吊大型液晶モニタを交換した上で、現状と同様にライブ表示を行なうものとする。(当然表示するカメラ映像は現状より増える)

またこの天吊大型液晶モニタ3台とラック内収納のメンテナンス用モニタ1台へは HDMI2方向クローン表示ができるものとする。(PC3台から大型液晶モニタ3台へは個々に表示し、ラック内モニタ1台(メンテナンス用)へは KVM スイッチでキーボード・ビデオ・マウスを切り替える)

残り2台の PC は管理用 PC と受付用 PC となり、それぞれモニタ(24 インチ程度の HDMI モニタ)は1台ずつ設置する。

前記 23 台のカメラ[D]と1台の録画サーバ(Canon NViS5604・RM ビューワ)の既存システムと 62 台の新システムとは、管理用 PC1台と受付用 PC からビューワを切り替えることにより併用できるものとする。

またこれらの PC には VMS・CMS ソフトもインストールして新旧5台の録画サーバのメンテナンスが可能なこととする。

【録画サーバ】新規 4 台

- ・19 インチ 36U ラックに搭載するので(タワー型・Desktop タイプではなく)ラックマウントタイプが望ましい。
- ・カメラ接続台数は計 62 台[A・B・C・E・F]で 4 台の録画サーバに分散して録画する。(D は既存サーバ)
- ・この 62 台のカメラ映像を2台の管理用 PC・受付用 PC からビューワを切り替えて映像一覧表示・個々録画再生・カメラ PTZ 操作等ができるものとする。
- ・同様に既存(継続仕様)の 23 台のカメラ[D]もビューワを切り替えて(RM ビューワ)映像一覧表示・個々録画再生・カメラ PTZ 操作等ができるものとする。
- ・25 台の 360° カメラ[E]の録画映像(魚眼)は歪を補正した映像で再生できるものとする。その再生映像は随意に PTZ 操作で画角を移動・ズームできるものとする。(魚眼デワープ・デワープ機能と称する)
- ・分かりにくいですが、結果として2台の管理用 PC・受付用 PC からは新旧 85 台全てのカメラのライブ・録画映像を参照できることになる。
- ・新規 4 台の録画サーバはそれぞれ NIC を2端子装備して異なるネットワーク2系統を接続できるものとする。(必須 既存サーバにも NIC を増設する)
- ・うち3台の録画サーバ[A・B・C・F を録画]の HDD はそれぞれ(RAID5 実質 12TB/台)以上とする。 HDD 増設の可能性もあり、RAID5 の HDD 収納数は MAX7台程度とする。
- ・この RAID5:実質 12TB は全て録画領域であり、別途起動用 SSD(OS・プログラム・ログ保存用)を搭載すること。
- ・また残り1台の録画サーバ[E を録画]も(RAID5 実質 12TB/台)以上とする。
- ・これら新規 4 台の録画サーバへの録画期間は1ヶ月が望ましい。(データ量の増減により期間の可変はあり得るが最低2週間以上は必須とする)
- ・交換 32 台[A・B・C]および増設 4 台[F]の PTZ 機の映像はそれぞれ任意の設定で動体検知録画を選択できるものとする。(一例として:人流が少ないカメラを=人がいない時は秒1コマ、人が通った時だけ秒5コマで録画する)
- ・この動体検知機能はカメラ本体側に有することが望ましい。(リソース的に負担にならなければ録画サーバ側機能でも可)
- ・EV かが内カメラ[B の1台]および 25 台の 360° カメラ[E]は動体検知無しでも可とする。(ちなみに既存[D]は動体検知録画は可能である)
- ・防災センターでのライブ映像の常時監視が運用の主たる目的なので、5台の PC での常時表示のライブ映像のディレイ(遅延)は 0.5 秒以下とする。この条件によりライブ映像は H.264 ではなく M-Jpeg が望ましいと推定される。
- ・4台の録画サーバには UPS(無停電装置)を装備し、停電時には任意の秒数で自動シャット

トダウンを行なうものとする。

・

【表示操作用 PC】5台

- ・Windows 10 Pro 64bit Core i5-11400 以上 MEM:16GB(8GB×2) SSD:500GB M.2 NVMe 以上 DVD スーパーマルチ HDMI モニタ2台に Full HD でデュアル出力が可能なこと。
- ・5台中3台を 19 インチラックに収納し、天吊りの大型モニタ3台に HDMI で接続のこと
- ・この3台のデュアル出力 HDMI を KVM スイッチに接続し、マウス・キーボード含めラック収納モニタ(24 インチ程度)に切り替えて表示できるものとする。
- ・大型モニタ・収納モニタとも 16:9(1920x1080)以上表示可能なこと。
- ・残り2台(管理用・受付用 PC)は 24 インチ程度の Full HD モニタに HDMI ケーブルで接続のこと。
- ・前記録画サーバ4台や大型モニタ表示用 PC3台、モニタ1台、KVM スイッチ・コア HUB・UPS などは全て新規 19 インチラック(36U 程度)に収納することとする。
- ・モニタは棚置きではなく固定すること。
- ・KVM スイッチ・マウス・キーボード用のスライド棚も装備すること。

【天吊り大型モニタ】3台

- ・4K 対応 49 型ワイド液晶ディスプレイ(テレビは不要)
- ・既存の天吊金具(VESA:400x400 or 400x200)に吊下げる。 当然ながら各モニタのベゼルが干渉しないこと。 天井裏に 100V コンセントあり。
- ・3台の表示用 PC からはデュアル出力の HDMI 長尺ケーブル1本ずつを大型モニタに配線する。
- ・映像レイアウトは現状を参照のこと。(但し映像数は増える また 4:3→16:9 のアスペクト比に変わる)映像の重要度により映像の大きさを任意に変えることができる=フリーレイアウト機能が望ましい。(例えば1列4画面と5画面が共存できる。 任意の大きさで大画面にできる。表示位置を自由に変えられる・・・など)

【ネットワークカメラ】

- ・交換・増設するネットワークカメラは下記「小型 PTZ モデル」「高倍率ズーム PTZ モデル」「小型 PT 広角モデル」の3機種が想定される。
- また別途 25 台の 360° カメラが増設される。(別紙新旧カメラ一覧表を参照) 以下に必要な仕様を述べる。

「小型 PTZ モデル」

- ・解像度は Full HD (1920x1080)以上を有すること
- ・光学 3.5 倍ズームを有すること
- ・サイズは φ 120mm×H54mm 程度の小型であり、目立たなく設置できるものであること

- ・天井埋込ハウジングに収納できること
- ・角度範囲は 350 度以上、駆動速度は 120 度/秒を備えるカメラであること
- ・レンズの明るさ性能として開放 F 値は 1.6 程度を有すること

「高倍率ズーム PTZ モデル」

- ・解像度は Full HD (1920x1080)以上を有すること
- ・光学 20 倍以上のズーム機能を有すること
- ・天井埋込ハウジングに収納できること
- ・最低被写体照度は モードを問わず常時 0.05lux 程度を有すること
- ・レンズの明るさ性能として開放 F 値は 1.6 程度を有すること
- ・角度範囲は 350 度以上、駆動速度は 120 度/秒を備えるカメラであること

「小型 PT 広角モデル」

- ・解像度は Full HD (1920x1080)以上を有すること
- ・サイズは φ 120mm×H54mm 程度の小型であり、目立たなく設置できるものであること
- ・天井埋込ハウジングに収納できること
- ・角度範囲は 350 度以上、駆動速度は 120 度/秒を備えるカメラであること
- ・レンズの明るさ性能として開放 F 値は 1.6 程度を有すること
- ・水平画角 95 度程度を有するカメラであること(16:9 映像比率)

「360° 12M ピクセルモデル」

- ・解像度は 360° 魚眼映像(1:1 映像比率)で 2880x2880 以上を有すること
- ・ライブ映像・再生映像でデワープ機能を有すること
- ・サイズは φ 80mm×H50mm 程度の小型であり、目立たなく設置できるものであること
- ・

【ハウジング】

・別途カメラ・ハウジング一覧(新旧カメラ一覧表)を参照のこと。 屋内用・屋外用／埋込・軒下・壁掛・天吊などが混在している。

海が近く塩害が懸念される。一部の例外を除き基本はハウジングに収納することとする。特に屋外用はファン・ヒーター(外気温に応じて稼働)・サンシェード(炎天下対策)が必須である。

(屋内も含め、結果として現状機は殆ど 10 年以上正常稼働している)

【その他周辺機器】

「PoE HUB・中継 HUB・コア HUB」

- ・各フロアの PoE HUB・中継 HUB・防災センターのコア HUB も全て更新する。
- ・各フロア HUB へはできる限り防災センターからスター型で配線し、カスケード接続は最低限とする。

・現状セグメントは1つ(192.168.100.0/24)であるが、これを3つのセグメントに変更する予定である(追加:192.168.101.0/24 192.168.200.0/24)

(別紙参照のこと)

必要な要件としては以下のスイッチングファブリックを有すること

5port (PoE) HUB:10Gbps 以上のスイッチング容量

8port (PoE) HUB:20Gbps 以上のスイッチング容量

16port (PoE) HUB:40Gbps 以上のスイッチング容量

24port (PoE) HUB:56Gbps 以上のスイッチング容量

「同軸/LAN コンバータ」

・エネルギーセンター屋上壁面のカメラ2台へは既存の同軸ケーブルを利用して両端にある現在の「同軸/LANコンバータ」を新機種に更新した上でネットワークを通すこととする。(別紙参照)

必要な要件としては

両端に PoE HUB を接続し複数のカメラを接続できること

同軸ケーブルは最長 500m まで疎通可能なこと

10/100/1000Mbps ポートを有すること

「GPS タイムサーバ」

現状映像系ネットワークは閉鎖系(Internet 環境無し・ルータ無し)の為、録画サーバやPCに標準時刻を配信する為にタイムサーバを設置する。

・機種は問わないが、5台の録画サーバと5台のPCの時刻同期が可能なこと。

・GPS 衛星の電波を受信できる見通しの良いところに設置すること。

【KVM 切替器スイッチ】

・4K 4ポート対応

・録画サーバ4台を接続しHDMI映像・無線KBD・無線MOUSEをラック内モニタに切り替えて使用できること。

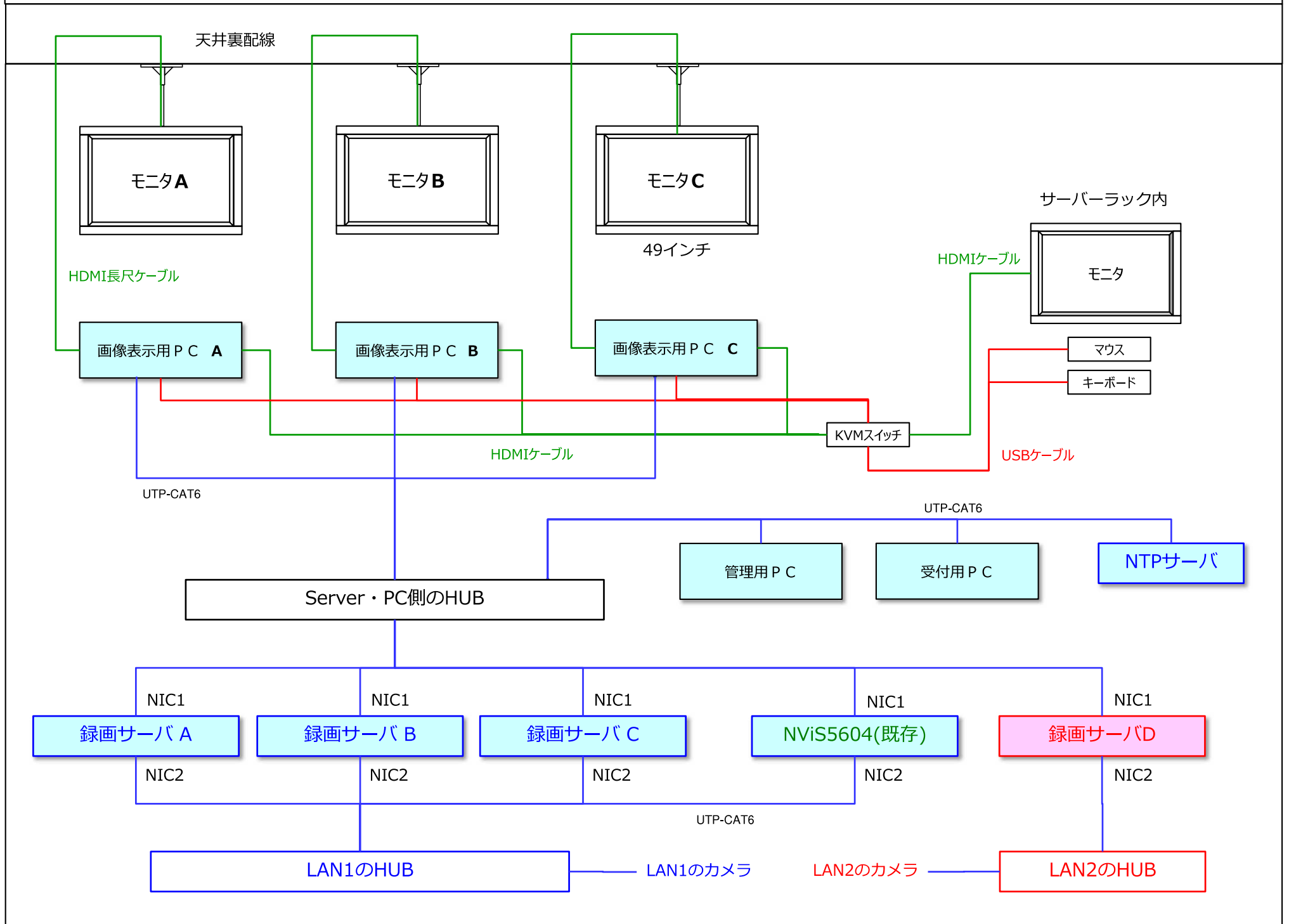
・

【精算機上カメラのバックヤードモニタへのライブ表示】

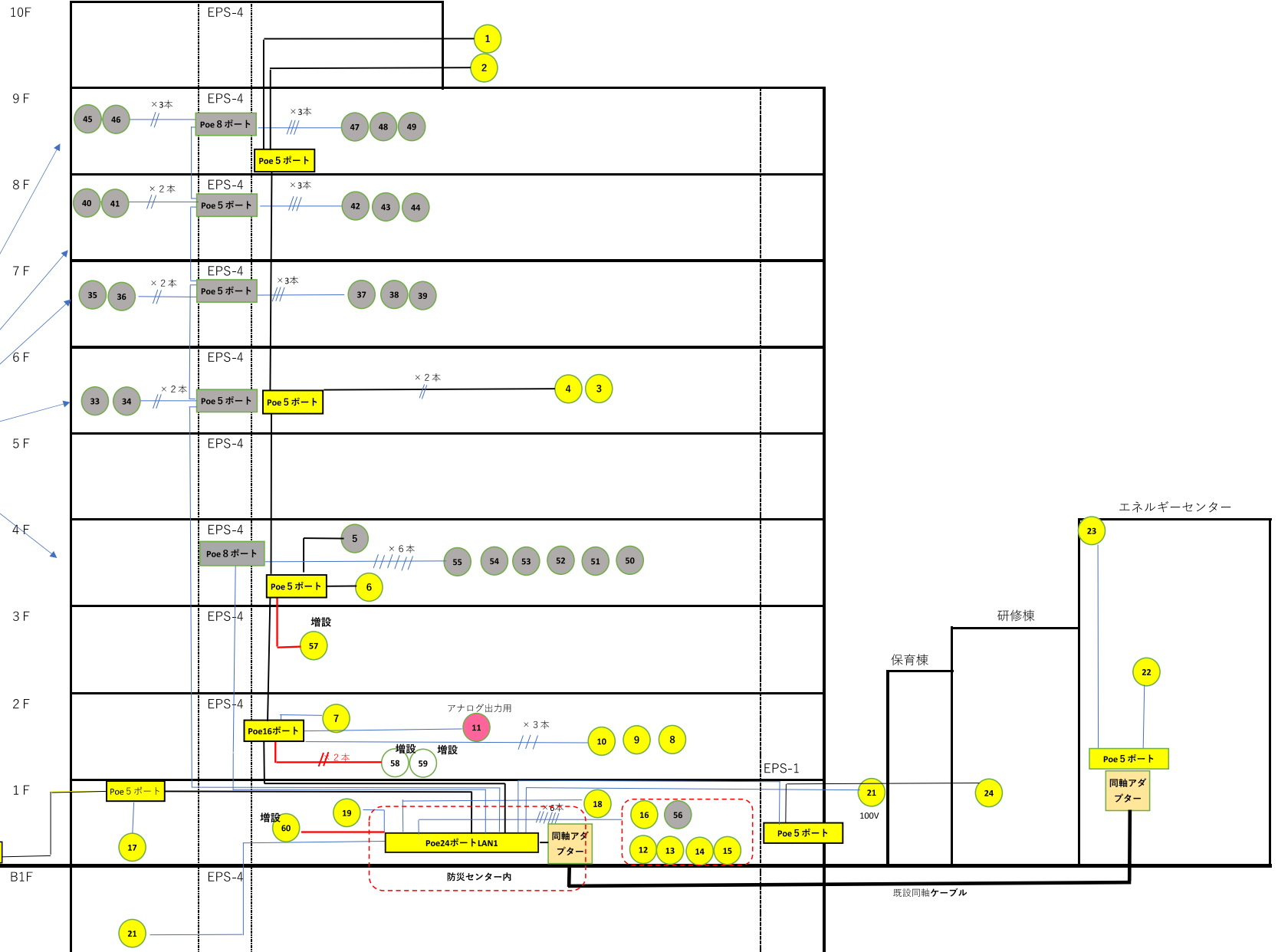
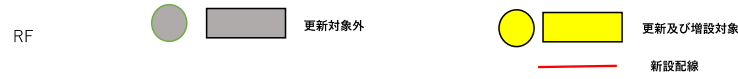
・現状はネットワークカメラからアナログ映像(NTSC)を出力しバックヤードモニタに接続している。Full HD化に伴い1920x1080のモニタにデコーダ等からHDMI信号で表示すること。

・要望により(1映像ではなく)任意の複数映像も表示できること。

1 F 防災センター内 大型液晶関連設備 ブロック図

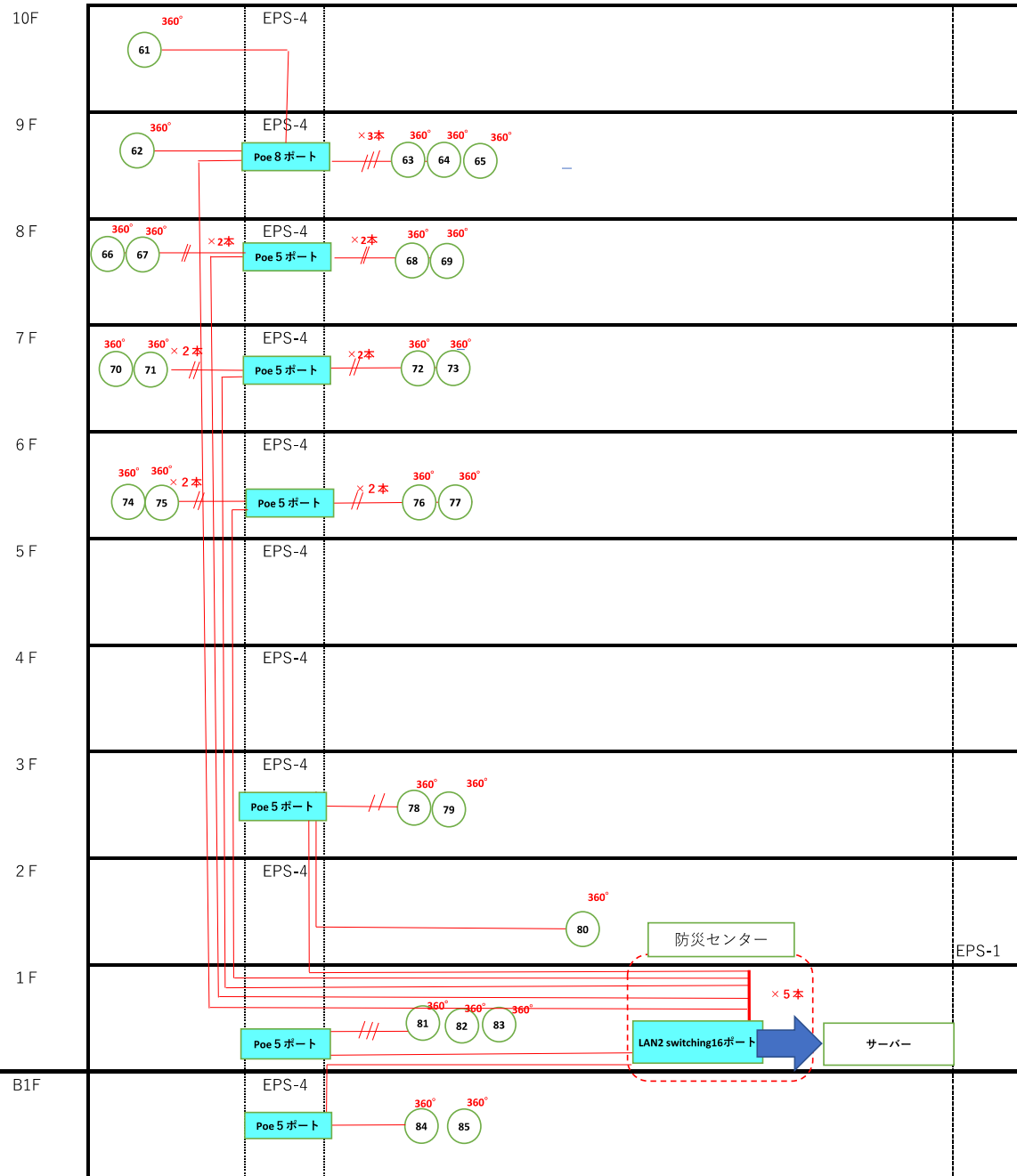


既設ネットワークカメラ更新及び増設図 画素数 2M

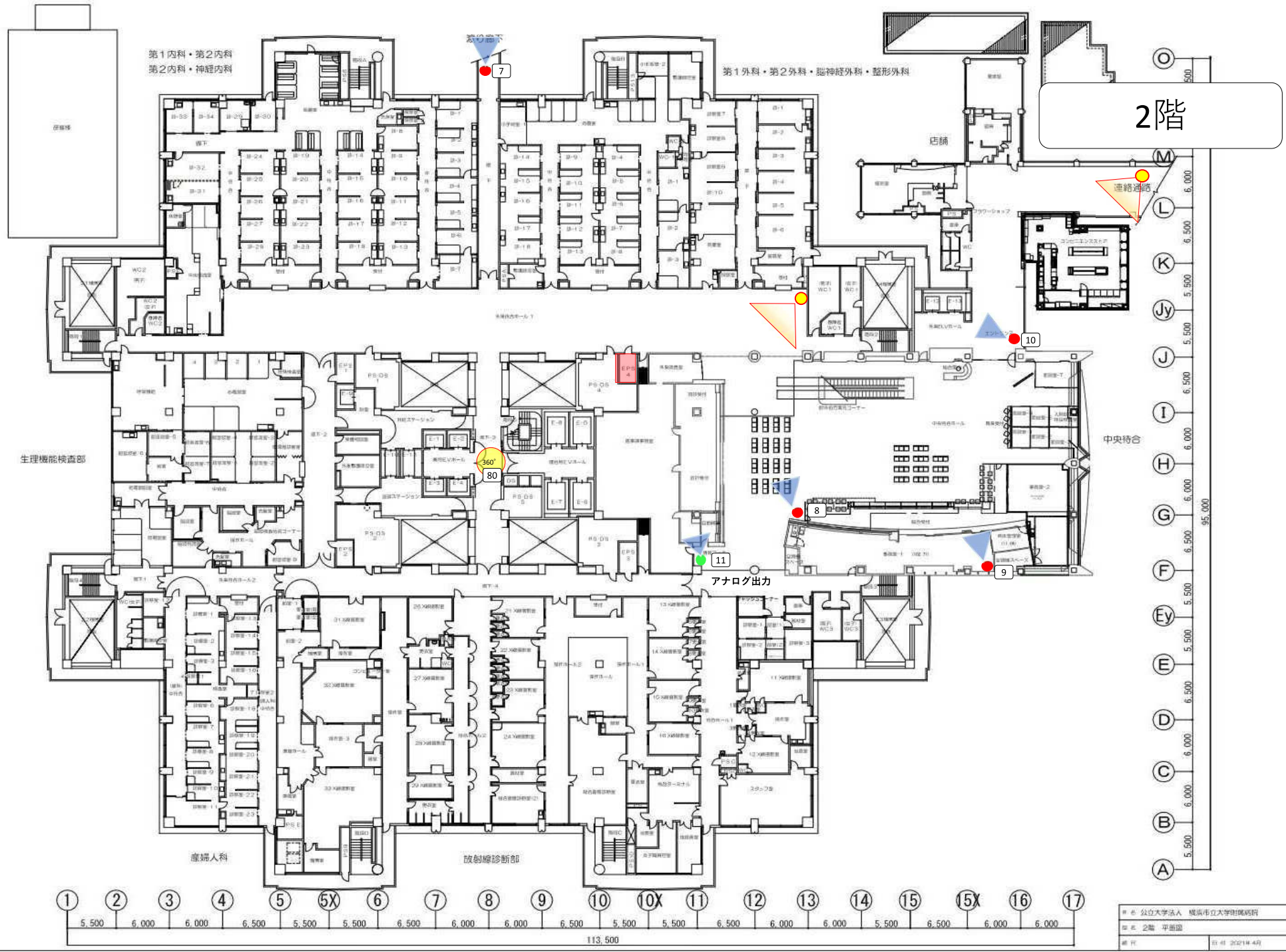


新設360°カメラ系統図

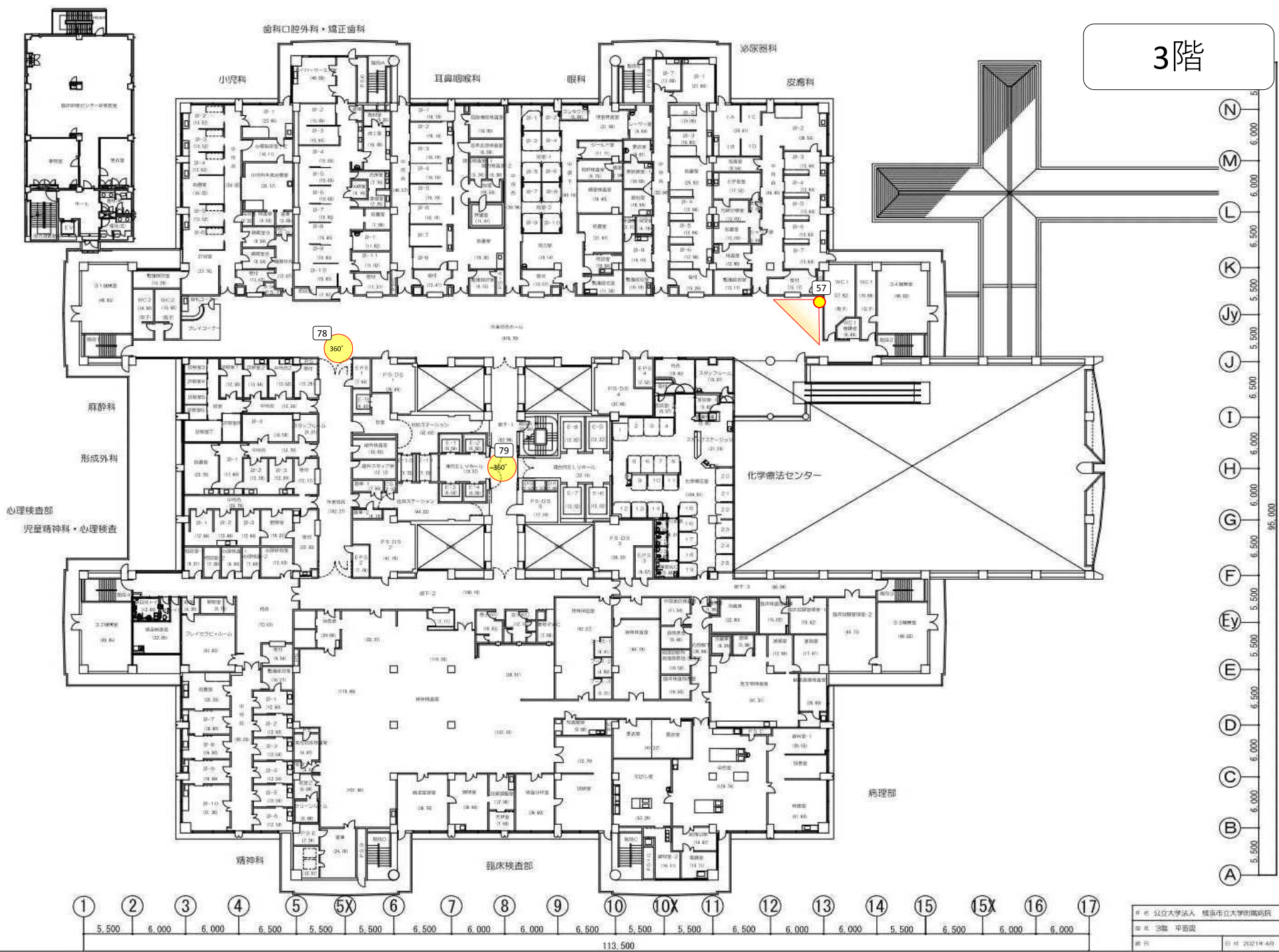
画素数 12M



2階



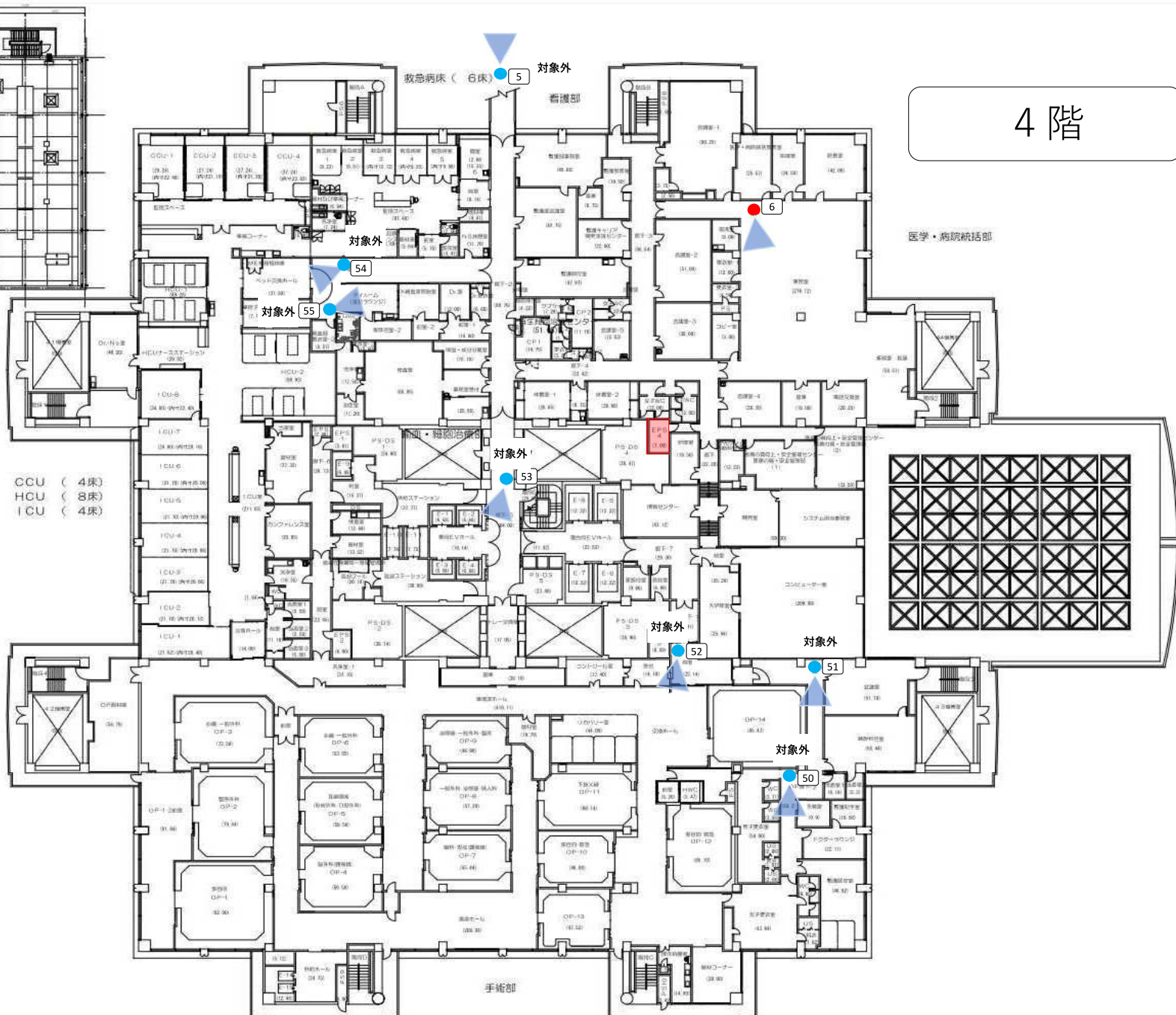
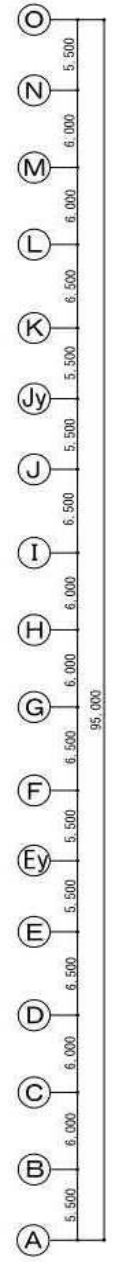
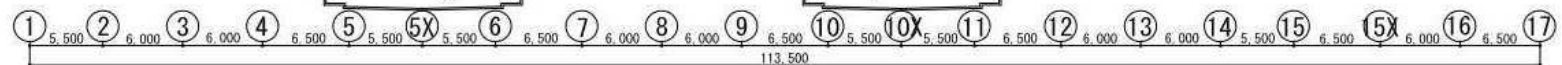
3階



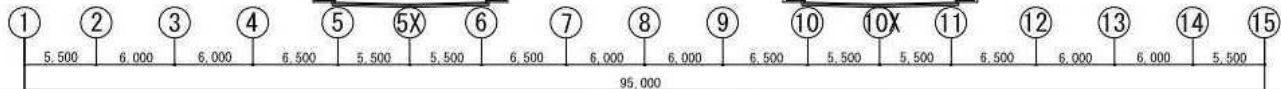
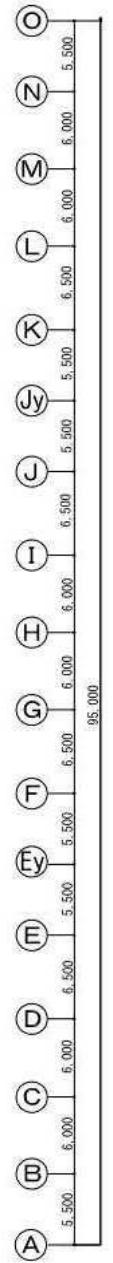
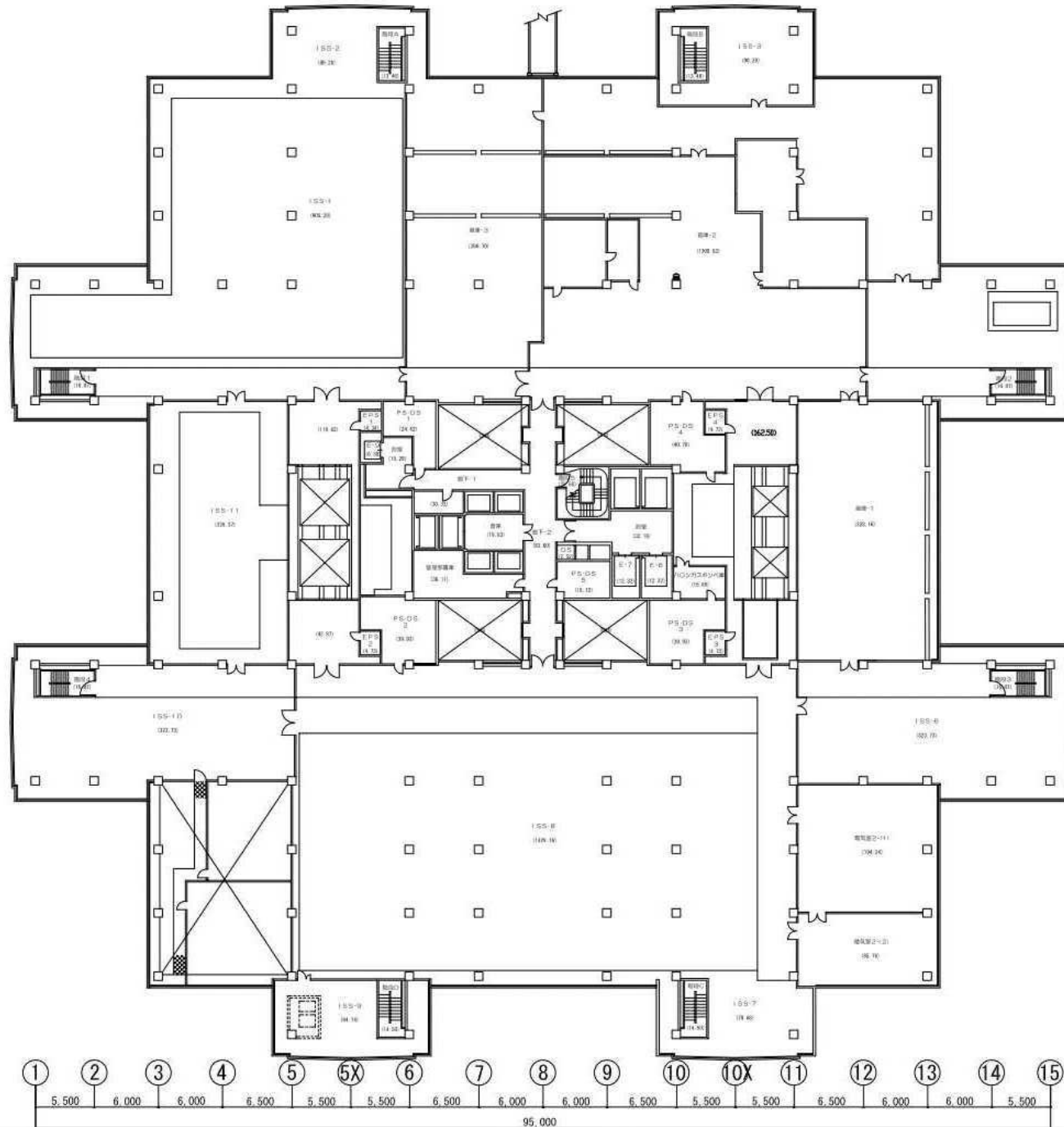
院名 公立大学法人 横浜市立大学附属病院
 階名 3階 平面図
 発行 日付 2021年4月

4階

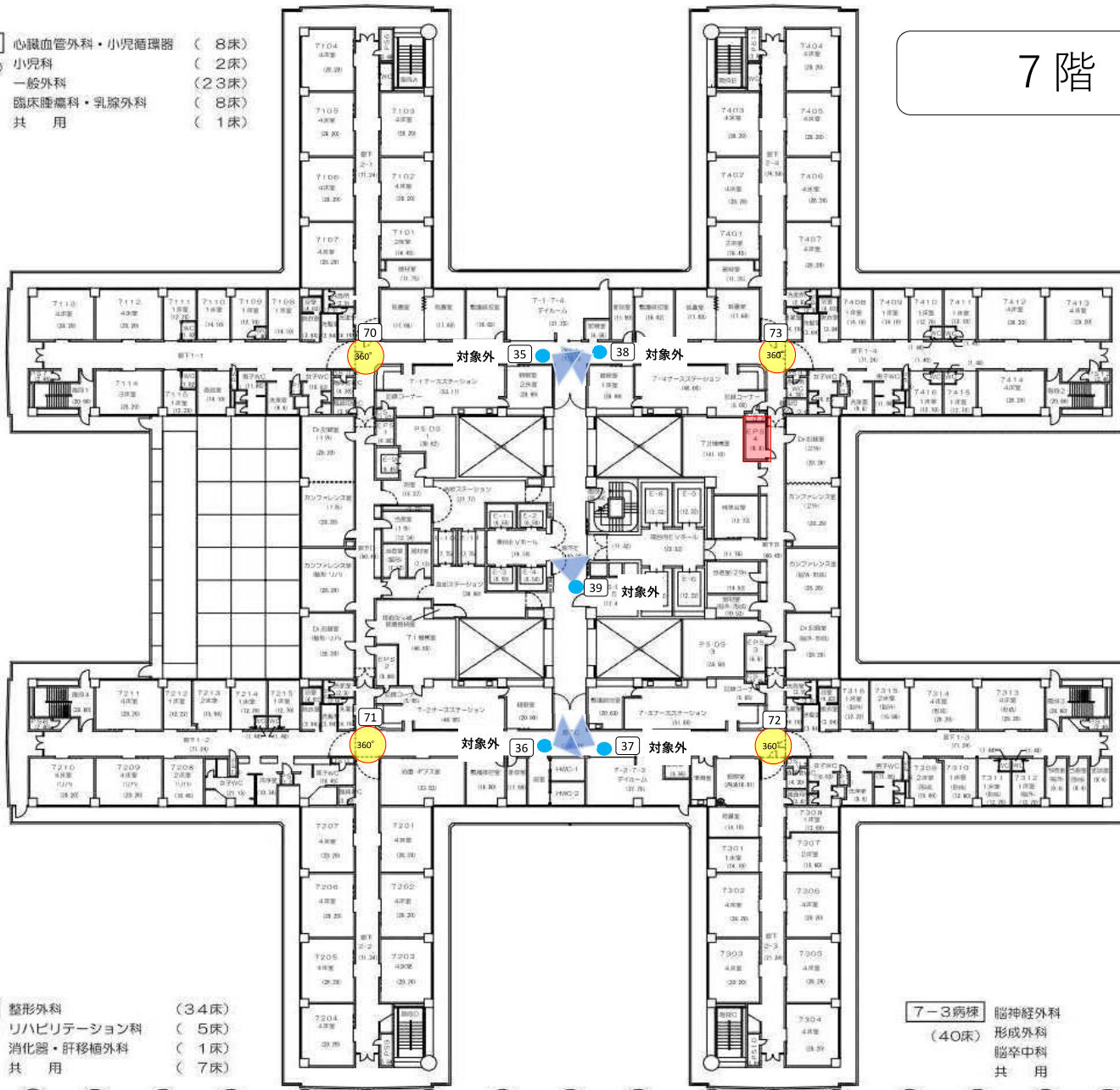
CCU (4床)
HCU (8床)
ICU (4床)



5階



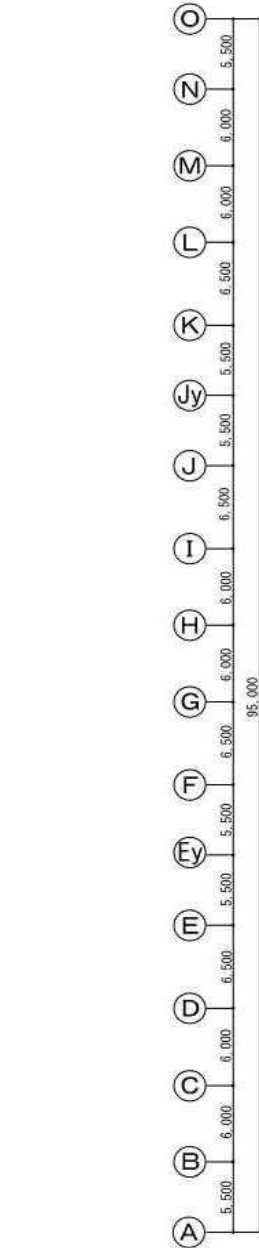
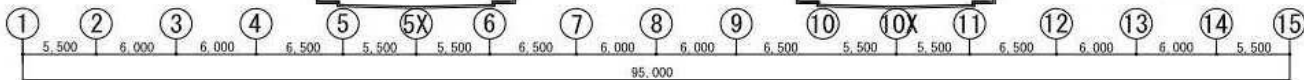
- 7-1病棟 (42床)
- 心血管外科・小児循環器 (8床)
 - 小児科 (2床)
 - 一般外科 (23床)
 - 臨床腫瘍科・乳腺外科 (8床)
 - 共用 (1床)



7階

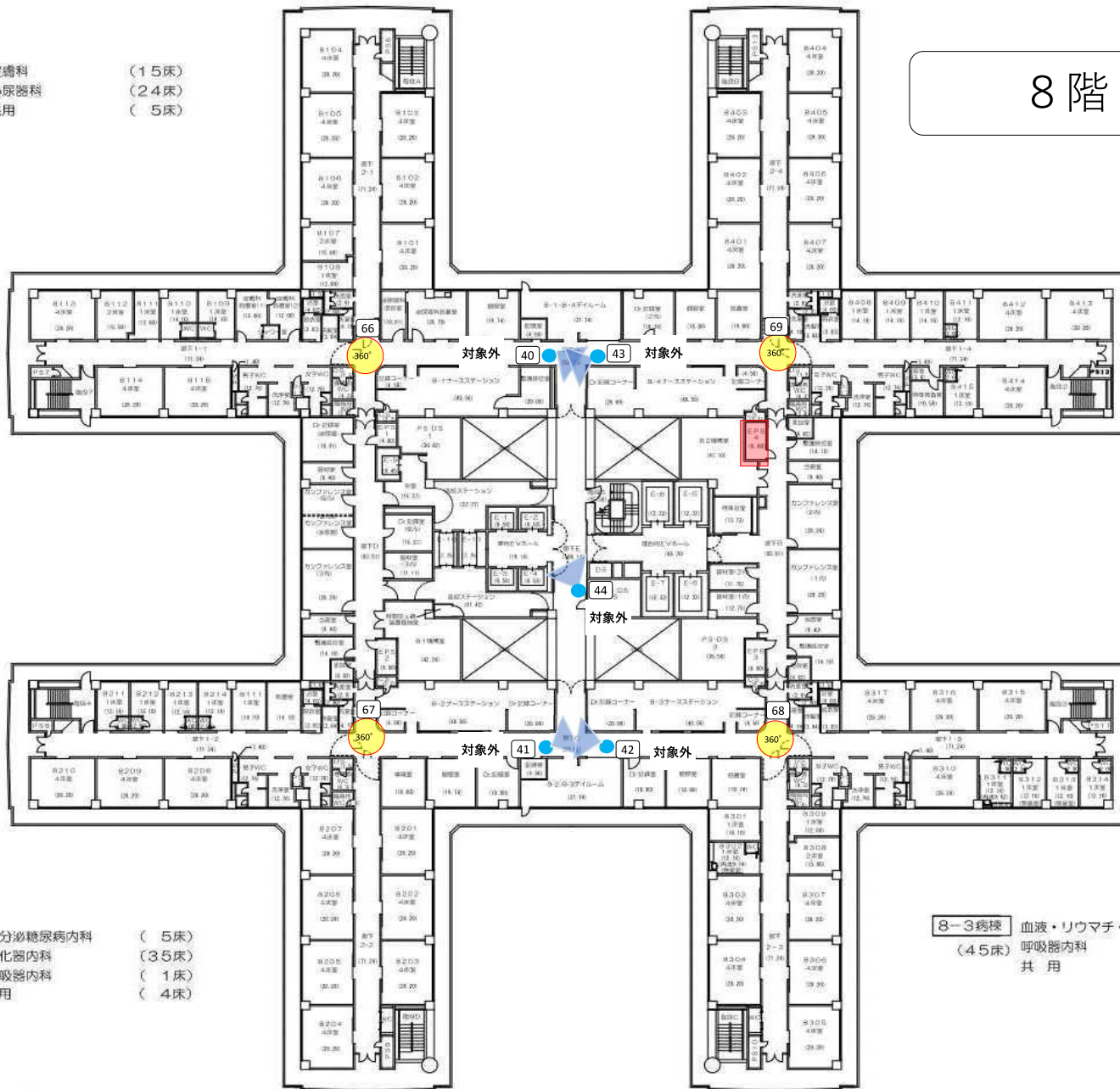
- 7-2病棟 (47床)
- 整形外科 (34床)
 - リハビリテーション科 (5床)
 - 消化器・肝移植外科 (1床)
 - 共用 (7床)

- 7-3病棟 (40床)
- 脳神経外科 (22床)
 - 形成外科 (11床)
 - 脳卒中科 (2床)
 - 共用 (5床)



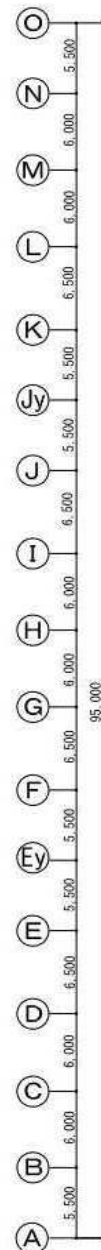
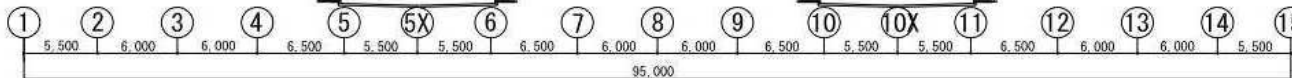
8-1病棟 皮膚科 (15床)
 (44床) 泌尿器科 (24床)
 共用 (5床)

8階



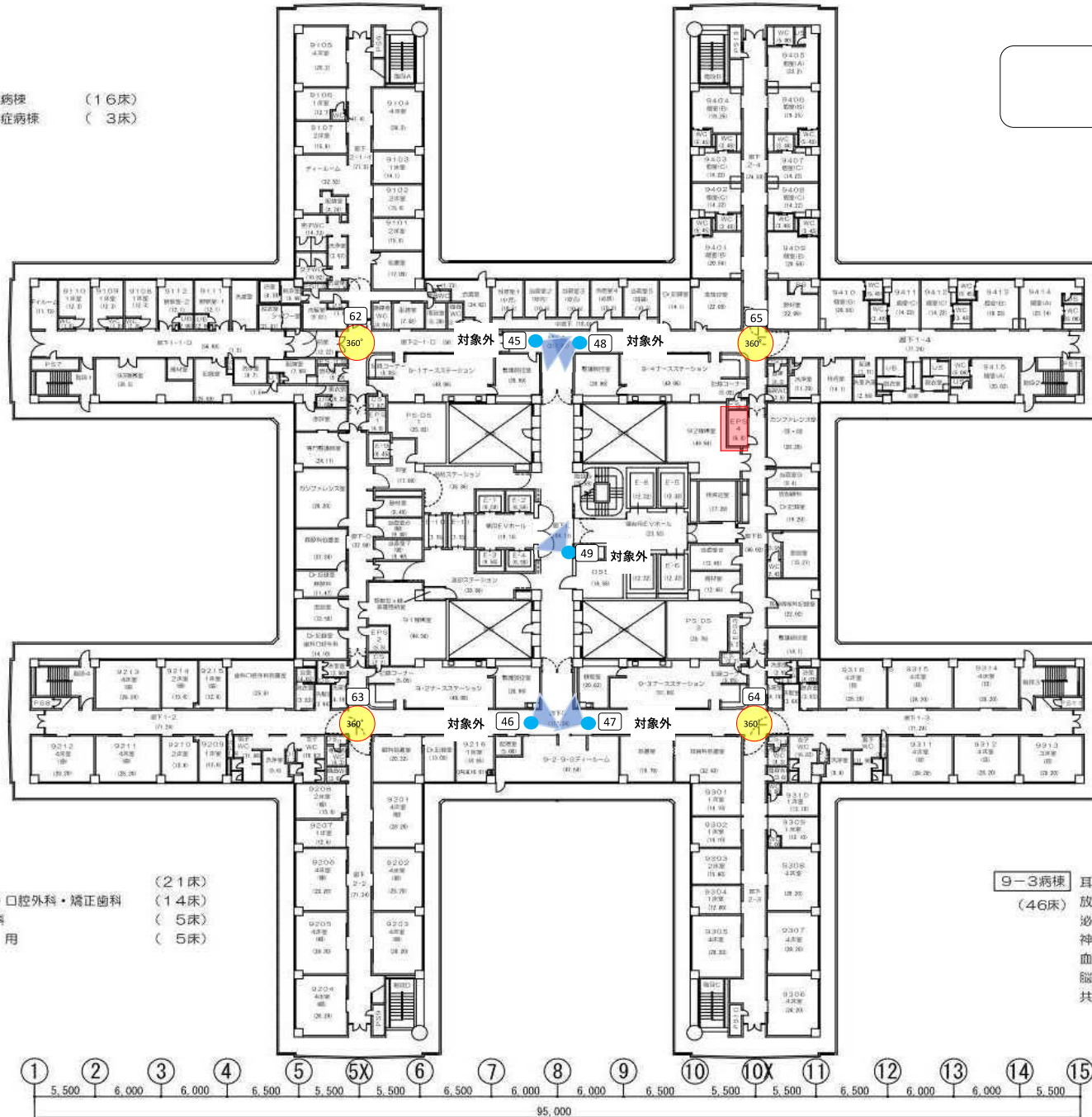
8-2病棟 内分泌糖尿病内科 (5床)
 (45床) 消化器内科 (35床)
 呼吸器内科 (1床)
 共用 (4床)

8-3病棟 血液・リウマチ・感染症内科 (31床)
 (45床) 呼吸器内科 (12床)
 共用 (2床)



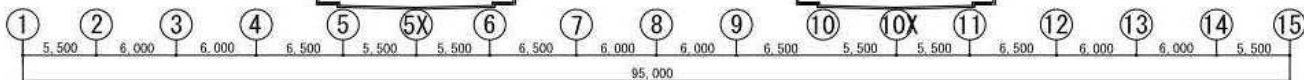
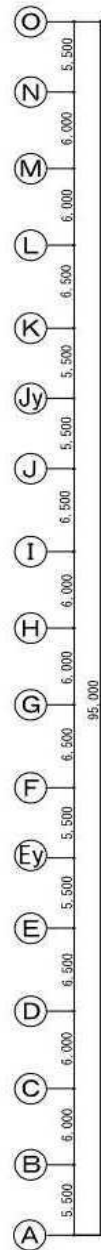
9-1病棟 結核病棟 (16床)
 (19床) 感染症病棟 (3床)

9階

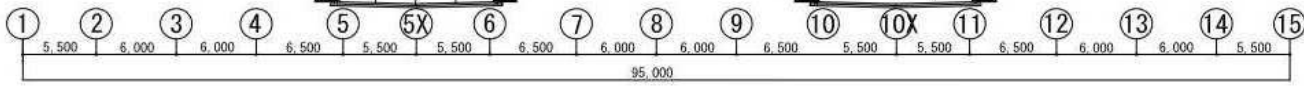
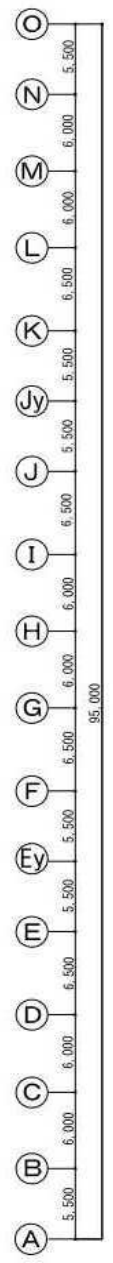
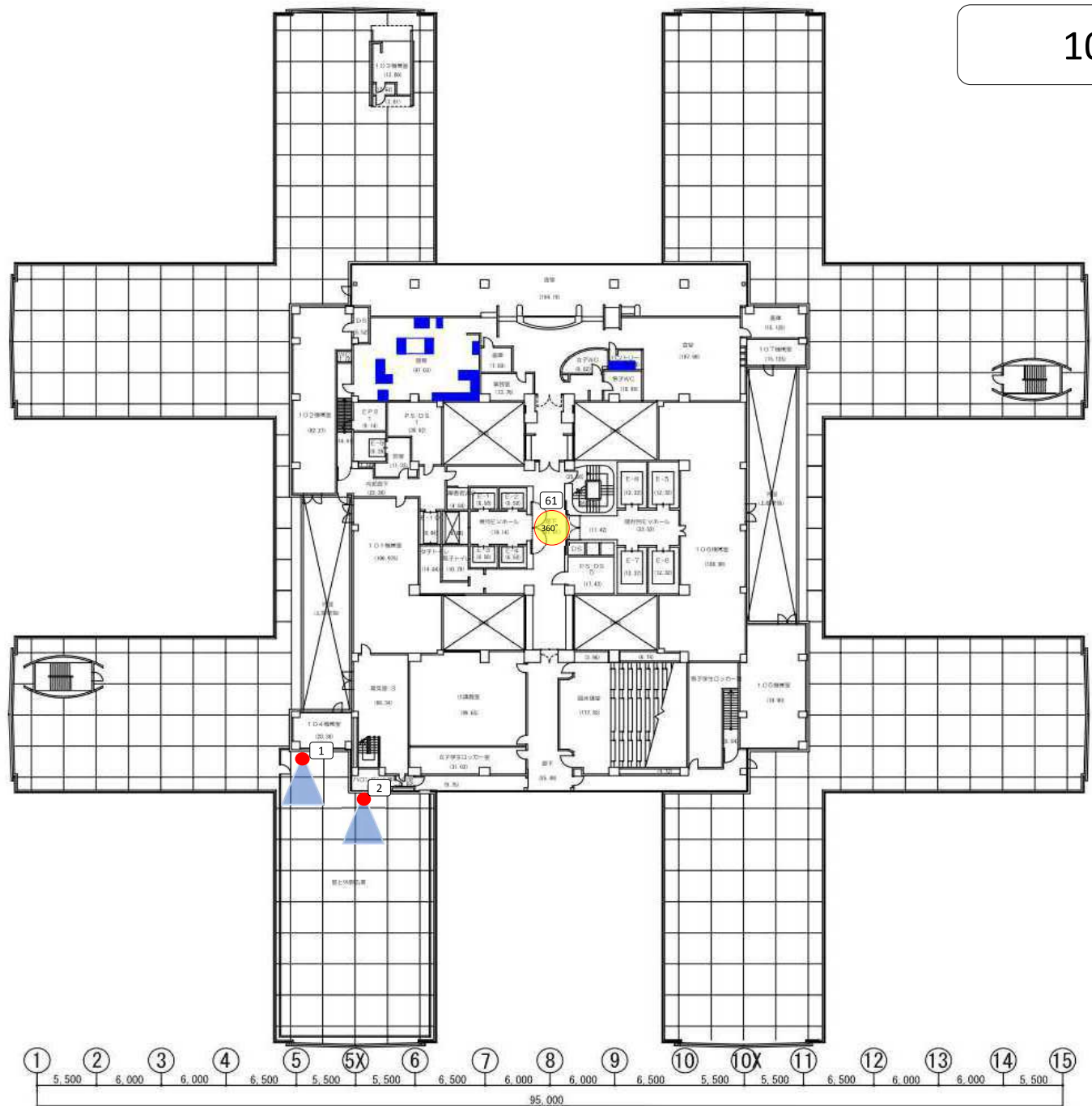


9-2病棟 眼科 (21床)
 (46床) 歯科・口腔外科・矯正歯科 (14床)
 麻酔科 (5床)
 共用 (5床)

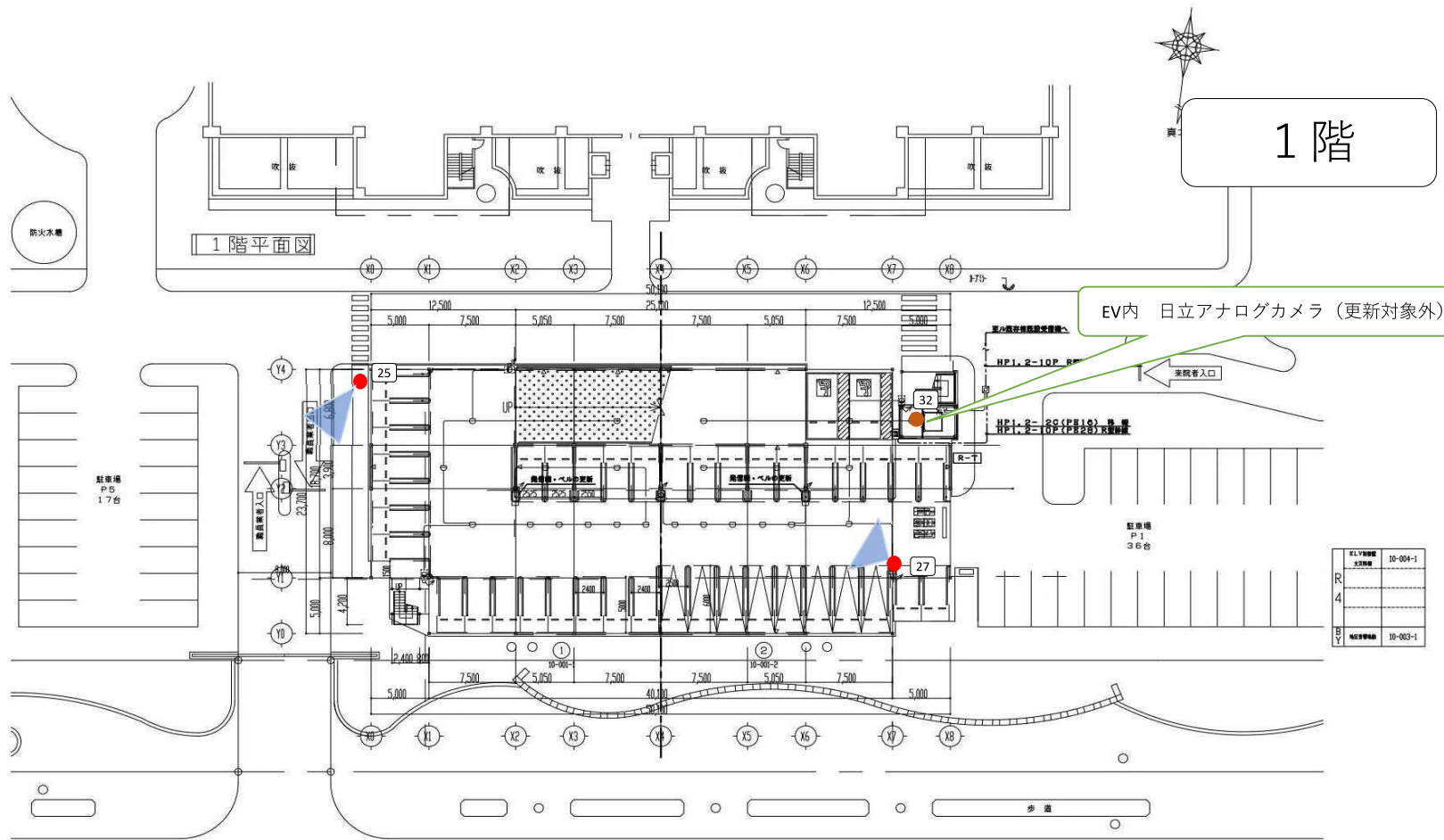
9-3病棟 耳鼻咽喉科 (26床)
 (46床) 放射線科 (4床)
 泌尿器科 (1床)
 神経内科 (2床)
 血液・リウマチ・感染症内科 (5床)
 脳卒中科 (5床)
 共用 (3床)



10階



図名	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
図尺	1/200 平面図
縮尺	図尺 2021年4月

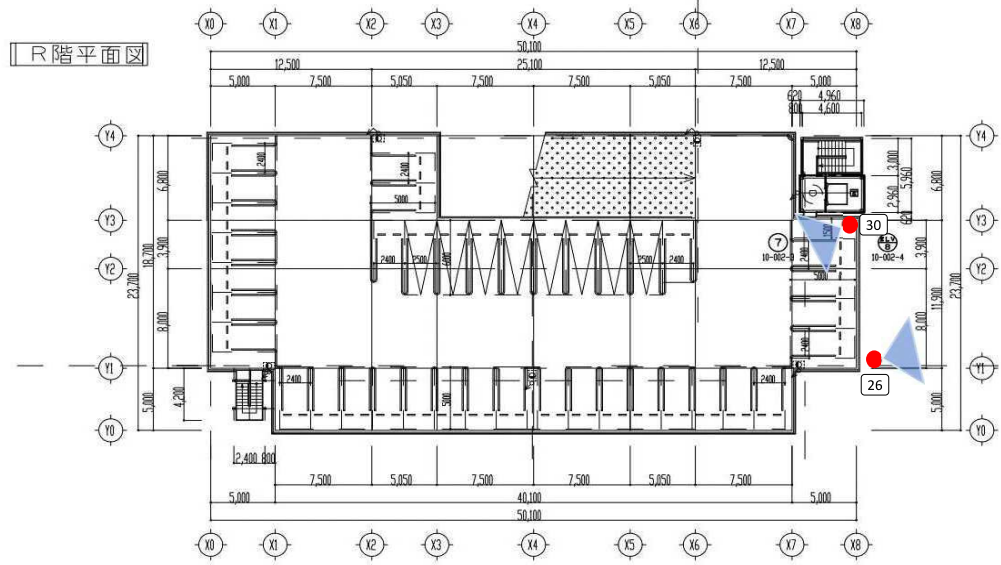


EV内 日立アナログカメラ (更新対象外)

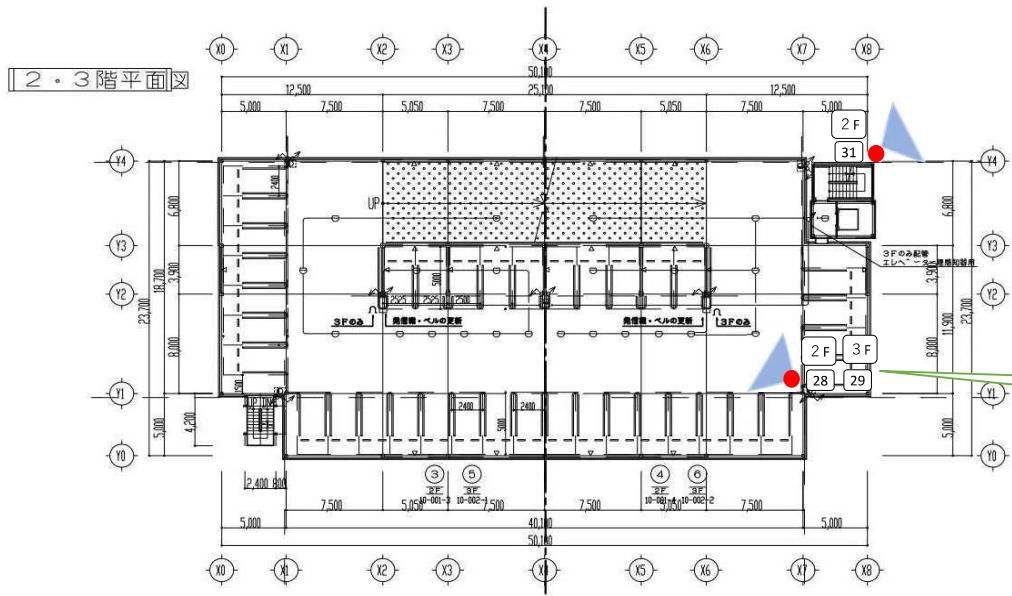
詳細(立上り、引下等)は系統図参照して下さい



株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一般建築士事務所 東京都港区赤坂 6-2-15号 設計者 伊藤 喜三郎 一般建築士登録番号 第20170号 設計設計一般建築士 登録番号 第1504号	設計者 伊藤 喜三郎	件名 横浜市立大学附属病院附属立休駐車庫増築 修築	図名 電気	図号 07A7-DK
		図名 電気	縮尺 A: 1/200 A3: 1/400	日付 平成21年10月30日
伊藤喜三郎建築研究所				



R階



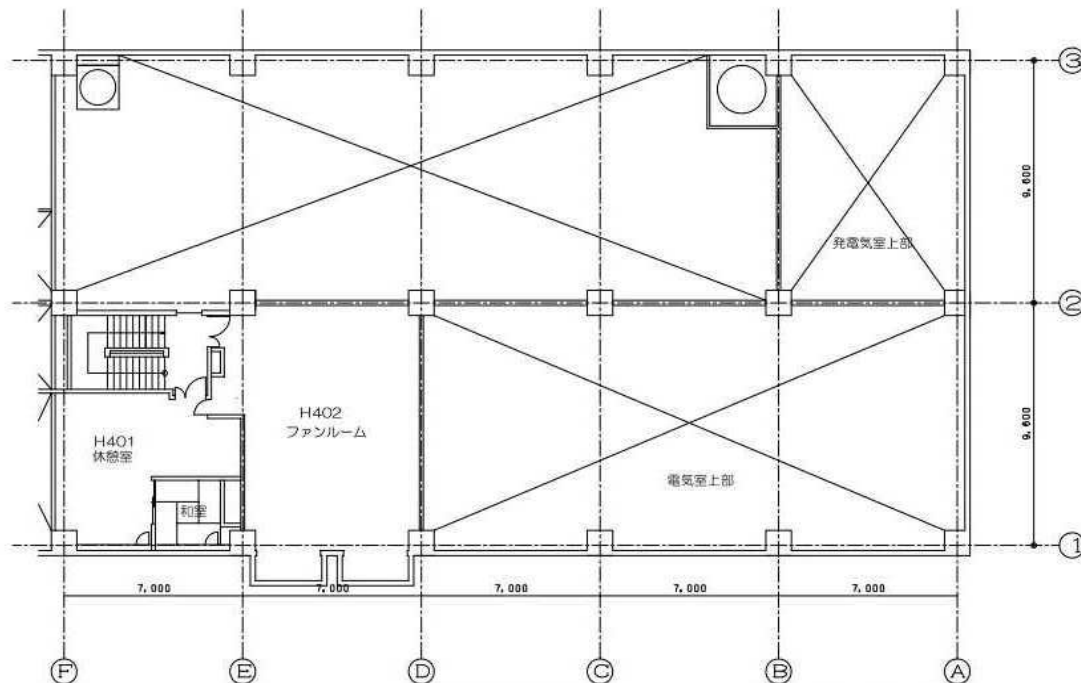
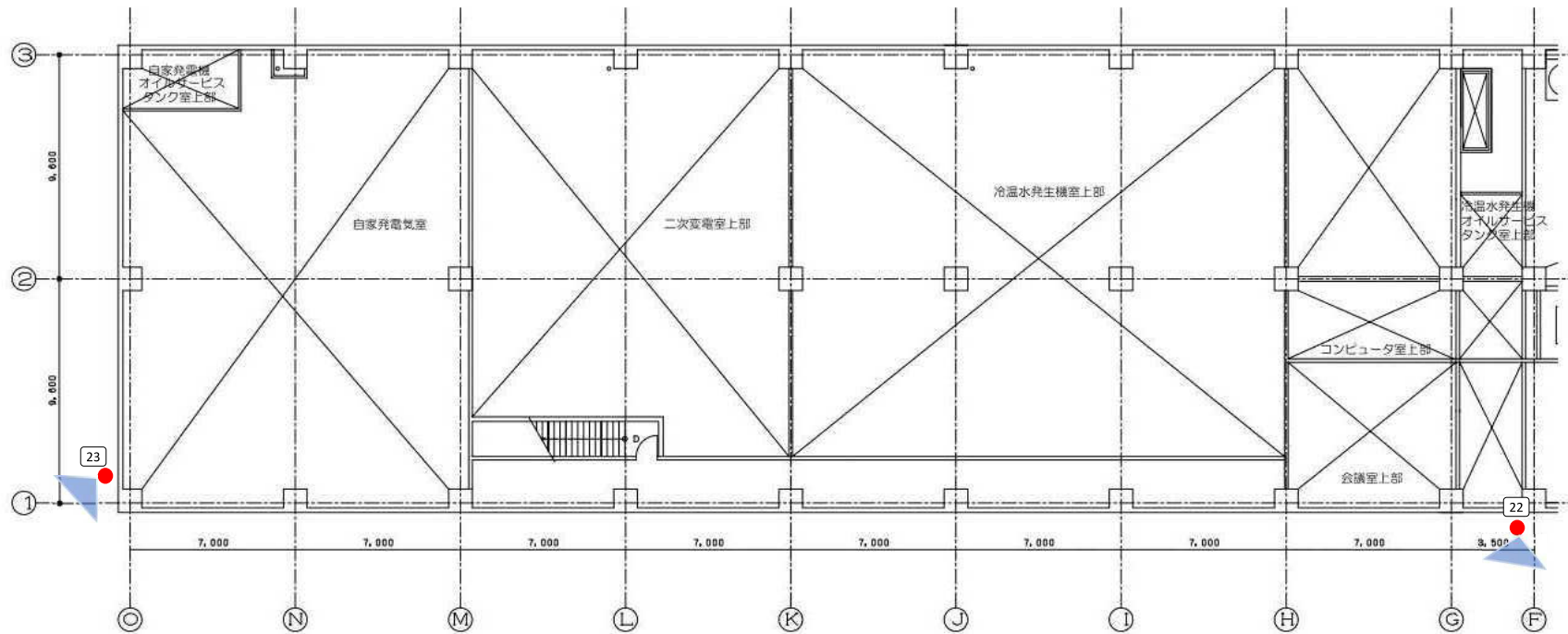
2F・3F

2F・3F 共、同位置設置

図名 階平面図 10-003-1

詳細（上より、引下げ等）は系統図参照とする

	株式会社 伊藤 善三郎 建築研究所 一般建築士事務所 東京都中央区本町1-1-1 設計者 石原 英夫 一般建築士登録番号 第220170号 図面設計一級建築士 登録番号 第1504号	設計者 石原 英夫 第220170号	社名 横浜市立大学附属横浜国立大学環境学 事業 図名 自來水設備図2 縮尺 A:1/200 A3:1/400 日付 平成21年09月30日	JWS-06 0747-DW 電気 OO
	伊藤 善三郎 建築研究所			



4階